

# 小学校理科教育 実技研修会 終了報告

テーマ	授業で使える実験プラン、教材紹介	
日時	令和 4年 11月 29日(火) 15:00～16:30	
会場	石狩研修センター 大会議室	
講師	<p style="text-align: center;">里 彰浩 氏 ・ 竹下 陽子 氏</p> <p style="text-align: center;">お茶の水女子大学サイエンス&amp;エデュケーション研究所 特任講師</p>	
参加者	約 22名	
研修会 の 様子		<p>昨年に引き続き、お茶の水女子大学サイエンス&amp;エデュケーション研究所の里先生に講師をお願いしました。研究所の取組や全国の先生方と連携しての事業を紹介していただきました。その後、コロナ禍でも実施できるように、個人で実験できる様々な実践や実験キットについて紹介していただきました。</p>
		<p>銅テープを使った電気の実験キットです。磁石がくっつくホワイトボードに、板磁石に銅テープを巻いた「導線」を自由に動かして回路を作ります。乾電池ボックスにも銅テープと磁石がついているため、置くだけで回路が作れるというものです。電池を 2 個使った直列・並列の実験や、マイクロビットとつなげて 6 年生のプログラミングの学習でも活用できます。</p>
		<p>先生方が苦手としている月と太陽の学習の実験キットです。月の満ち欠けの様子と太陽との位置関係を、いかに児童に理解させるかが難しいですが、ピンポン玉と上からのぞいて見える形から、月の位置と見え方を観察することができます。</p>
		<p>そのほかにも天体観測用のソフトの紹介や、筋肉の「ちぢむ」「ゆるむ」を、市販の実験器具よりもわかりやすく体験できる筋肉モデルの作り方などを教えていただきました。</p> <p>実際に作って体験することで、実験キットの良さや改善点などを交流することができ、今後の授業のヒントにつながったようでした。参加者からのアンケートでも大変参考になったと大好評でした。</p>